

## 今週のビルマのニュース 2009年4月10日【0914号】

### 今週の主なニュース：2010年総選挙をめぐる情勢

・ラングーン（ヤンゴン）で1日、教師など男女5人が逮捕された。タイ国境で開かれた労働問題会議に出席したばかりだった（9日付イラワディ）。

・ビルマ国内で活動する民主化運動団体「88世代学生グループ」は6日、軍政に公開書簡を出した。同グループは、米国などが制裁措置を取るのには軍政による民主化勢力の弾圧や人権侵害が理由だと指摘した上で、「制裁を解除できるのは軍政だけである。軍政が直ちに全政治囚を釈放し、民主化勢力側との対話を始め、2008年憲法の見直しを行えば、制裁は徐々に解除されていくだろう」と述べた。

・ビルマの亡命政府など、ビルマ国外に拠点を置く主要な民主化運動団体は6日、共同声明を出し、諸団体が一致団結すること、アウンサンスーチー氏が率いる国民民主連盟（NLD）などに同調し、2010年総選挙に反対することを改めて表明した。

・ラフー民族開発機構（LNDO）が報告書を出し、シャン州の政治情勢が「きわめて不安定」とした。ビルマ軍政は、同州に支配領域を持つワ州連合軍（UWSA）などの武装勢力に対し、武装解除し2010年総選挙に参加するよう圧力を強めており、諸勢力との間で緊張が高まっている。またシャン州と境を接する中国が同州の政治経済に大きな影響力を持っている。中国は同州での権益を守る観点から、武力紛争の再開を懸念している（9日付イラワディ）。

### その他：ビルマ産茶葉漬物に有害着色料、ほか

・米国議会下院議員17人が3日、クリントン国務長官に宛てて書簡を出した。3月末に米国国務省のブレイク東南アジア部長がビルマを訪問し、経済制裁を解除する可能性を示唆したことに懸念を示した上で、軍政が2010年に実施を計画している総選挙を支持しないこと、またビルマ産宝石の輸入禁止などの制裁措置を継続することを呼びかけた。

・米国議会上院議員で上院外交委員会アジア小委員会のウェブ委員長は3日、ワシントンDCで開かれた外交問題評議会の昼食会で、米国のビルマ政策について「外交ルートの開拓を通じて、経済制裁の解除を目指していくべき」と述べた（3日付AFP）。

・マレーシアとシンガポールは、有害な着色料オーラミンOを含むビルマ産の茶葉の漬物の輸入を禁止した。ビルマ国内では既に3月に当局が100種以上の

同様の漬物の販売を禁止している（2日付イラワディ）。ビルマ当局はまた、国内で販売されている他の食品や飲料にも同じ着色料が含まれている恐れがあるとして検査に乗り出した（6日付ミジマ）。

・2008年にビルマを訪れた日本人観光客数は前年に比べて半減し、約4500人だった。2007年の民主化運動弾圧や、2008年のサイクロン襲来などが影響していると見られる（7日付ジャパン・タイムズ）。

### ビルマへの政府開発援助（ODA）約束状況など

新たな発表はなし

### イベントなど

☆日本を含む世界24カ国で展開中の「ビルマの全政治囚人の釈放を求める署名キャンペーン」。6日現在、22万以上の署名が集まった。

・在日ビルマ人共同行動実行委員会アクションー国連事務総長に対し、一刻も早くビルマを訪問し、スーチーさんを含むすべての政治囚人の釈放と対話の促進を軍政に働きかけるよう要請するアピール行動（国連大学前、6～10日15～16時）

・ビルマ市民フォーラム例会「政治囚の早期釈放を！元政治囚ボーチャー氏を招いて」ビルマ政治囚支援協会（AAPP）ボーチャー氏、ヒューマン・ライツ・ウォッチ ビルマ調査員デービッド・マティソン氏（池袋・ECOとしま8階、11日18時～）

・ビルマのお正月「ダジャン水かけ祭」ビルマ民主化同盟主催（井の頭恩賜公園、12日10時半～）

・いとうせいこう×沢知恵×ダブマスターX「ミャンマー軍事政権に抗議するポエトリー・リーディング QUIET」22日発売。インスタア・ライブ（タワーレコード渋谷店、5月2日17時）

### もっと詳しい情報は

きょうのビルマのニュース（平日毎日更新）  
<http://d.hatena.ne.jp/burmainfo>

ビルマ情報ネットワーク  
<http://www.burmainfo.org>

<p>お問い合わせ ビルマ情報ネットワーク 秋元由紀 yuki@burmainfo.org 080-2006-0165</p>
---